

海外現地法人の動向（要旨）

海外現地法人四半期調査（平成 19 年 1-3 月期）

平成 19 年 6 月 22 日
調査統計部企業統計室

<今回調査のポイント>

平成 19 年 7-9 月期の先行きDI

○売上高の先行きは改善を見込み、高い景況感を持続

現状判断は改善し、先行きは、一般機械を除く主要業種及び北米を除く地域の改善により、改善を見込む。すべての主要業種で2桁台のプラス水準にあり、高い景況感を持続。

○設備投資額の先行きは悪化を見込むものの、高水準

現状判断は改善し、先行きは、化学及び電気機械を除く主要業種、北米を除く地域の悪化により悪化を見込むが、すべての主要業種で2桁台のプラス水準。

○従業者数の先行きは改善を見込む

現状判断は改善し、先行きも改善を見込む。中国は引き続き2桁台のプラス水準。

平成 19 年 1-3 月期の実績

○売上高は前年同期比 8.6%増、伸び率は4期連続で緩やかに回復

- ・業種別では、輸送機械は伸びを高め2桁台の増加。一般機械及び化学は堅調に増加したが、電気機械及び鉄鋼は引き続き1桁台の増加。
- ・地域別では、欧州及びアジア地域は伸びを高め2桁台の増加。北米は7期連続1桁台の増加。欧州は一般機械及び輸送機械が大幅に増加し、2期連続2桁台の増加。中国は2桁台の増加を持続。輸送機械は引き続き大幅に増加。ASEAN4 は5期ぶりに2桁台の増加。輸送機械は3期連続2桁台の増加となり、電気機械は増加に転じた。北米は3期連続低い伸び。化学は堅調に推移したが、輸送機械は引き続き低調。NIEs3 は台湾の輸送機械の不振などから、小幅ながら5期連続の減少。

○設備投資額は前年同期比 4.1%増、1桁台の増加にとどまる

- ・業種別では、一般機械及び化学は引き続き大幅に増加。輸送機械は7期ぶりに減少し、電気機械及び鉄鋼は大幅に伸び率を低下。
- ・地域別では、欧州は3期連続2桁台の増加となり、北米は2桁台の増加に転じたが、アジア地域は大幅に伸び率を低下。中国は減少に転じ、ASEAN4 及び NIEs3 は大幅に伸び率を低下。

○従業者数は前年同期比 3.4%増と引き続き増加

引き続き、業種別では輸送機械を中心に、地域別では中国を中心としたアジア地域で、増加。

調査時点：平成 19 年 5 月中旬

1. 売上高

先行きDI*1は24.1%ポイントと改善を見込む。実績は前年同期比8.6%増と、伸び率は4期連続で緩やかに回復。

- **現状判断DI** (19年4-6月)は19.5%ポイントと、前期現状判断DI (19年1-3月)に比べ8.1%ポイント改善。アジア地域は、ASEAN4*2、NIEs3*3、中国*4とも改善し、大幅に改善。北米は輸送機械及び化学などの悪化により悪化。欧州はすべての主要業種で悪化し、1桁台の水準。すべての主要業種及び欧州を除く地域で2桁台の水準。

先行きDI (19年7-9月)は24.1%ポイントと、今期現状判断DIに比べ4.6%ポイント改善。一般機械を除く主要業種で改善を見込む。アジア地域は、輸送機械の改善を中心にすべての地域で改善し、改善を見込む。北米は一般機械及び輸送機械の悪化から悪化を見込む。欧州は、輸送機械は大幅な悪化を見込みマイナス水準となったが、電気機械及び一般機械の改善などから、改善を見込む。すべての主要業種及び欧州を除く地域で2桁台のプラス水準にあり、引き続き高い景況感を持続。

- **実績** (19年1-3月)は前年同期比8.6%増と、伸び率は4期連続して緩やかに回復。
業種別では、輸送機械が欧州及び中国を中心に伸びを高め、5期ぶりに2桁台の増加。一般機械は5期連続2桁台の増加となり、化学は伸びを高めた。電気機械及び鉄鋼は引き続き1桁台の増加。

地域別では、欧州及びアジア地域は伸びを高め2桁台の増加となったが、北米は7期連続1桁台の増加。**欧州** (前年同期比15.9%増)は2期連続2桁台の増加。建設機械を中心とした一般機械及び輸送機械が大幅に増加し、化学は2桁台の増加に加速。**アジア地域** (同11.6%増)は、ASEAN4及び中国は伸びを高めたが、NIEs3は引き続き減少。**中国** (同15.8%増)は2桁台の増加を持続。輸送機械は引き続き大幅に増加し、化学及び鉄鋼も2桁台の増加と伸びを高めたが、電気機械は5期連続1桁台の増加にとどまった。**ASEAN4** (同10.2%増)は5期ぶりに2桁台の増加。輸送機械は3期連続2桁台の増加となり、電気機械は増加に転じた。**NIEs3** (同▲0.1%減)は、減少幅は小幅ながら5期連続の減少。台湾の自動車が続く不振なことなどから輸送機械が4期連続2桁台の減少。**北米** (同0.8%増)は、2期連続1%台の増加の後さらに伸び率を低下。輸送機械は引き続き低い伸びにとどまり、一般機械はわずかながら減少に転じた。化学は堅調に増加。

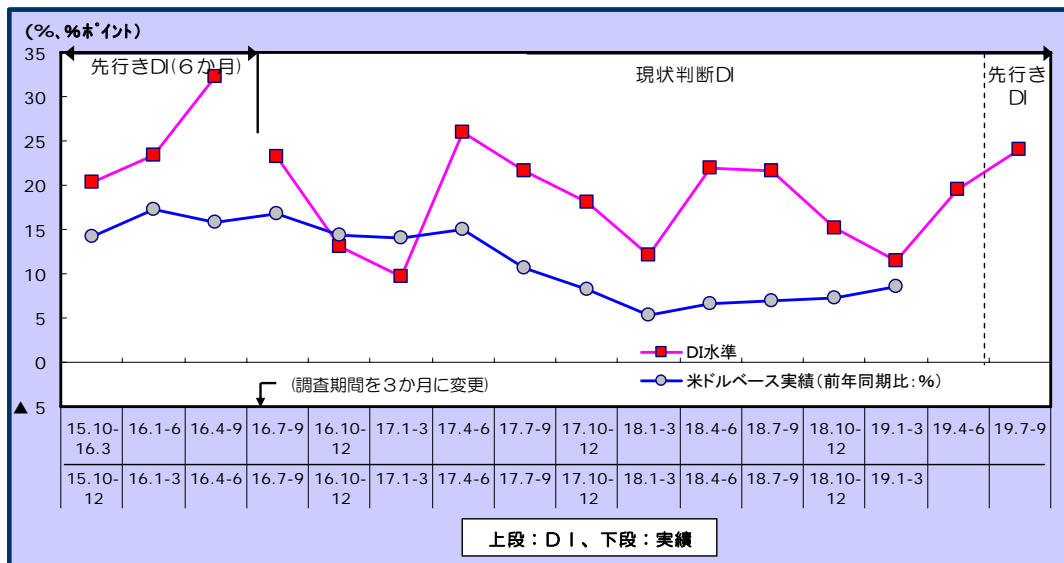
注 *1：調査時点を含む四半期（現状判断）及びその翌四半期（先行き）に関し、前期と比較した見直し
・DI＝「増加と回答した企業の割合」－「減少と回答した企業の割合」
・現状判断DIの前期比＝「今回調査現状判断DI（19年4-6月期）」－「前回調査現状判断DI（19年1-3月期）」
・先行きDIの前期比＝「今回調査先行きDI（19年7-9月期）」－「今回調査現状判断DI（19年4-6月期）」
*2～4 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア NIEs3：シンガポール、台湾、大韓民国 中国：香港を含む

1表 売上高のDI及び実績（地域・主要業種別）

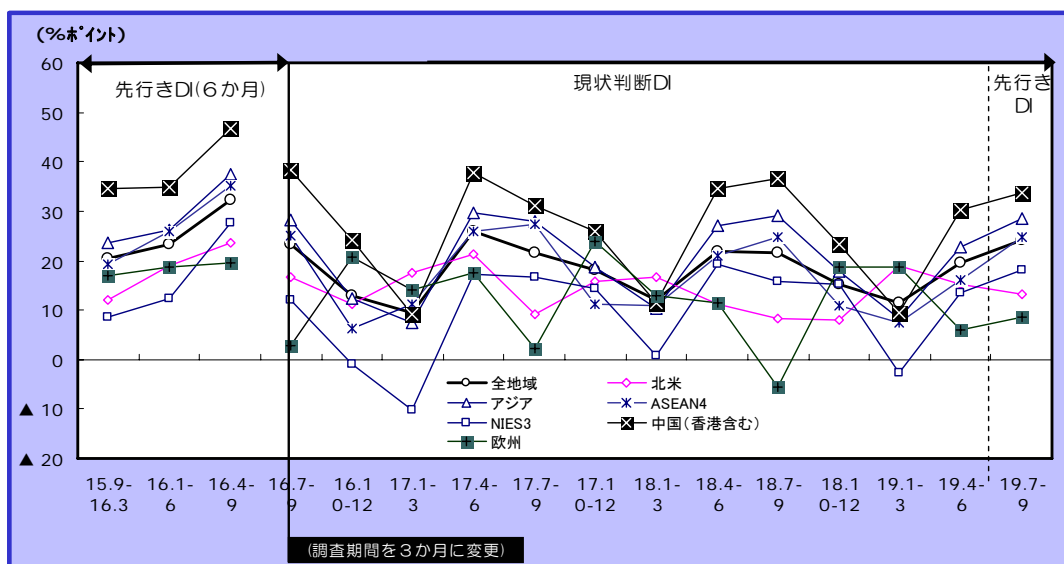
(単位：DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI		前期比		実績 (前年同期比)			DI		前期比		実績 (前年同期比)			
	前期調査	今 期 調 査	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)	前期 (18.10-12)	今期 (19.1-3)		前期調査	今 期 調 査	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)	前期 (18.10-12)	今期 (19.1-3)		
	①現状判断 (19.1-3)	②現状判断 (19.4-6)			③先行き (19.7-9)	①現状判断 (19.1-3)		②現状判断 (19.4-6)	③先行き (19.7-9)						
計 (地域・業種)	11.4	→ 19.5	→ 24.1	(8.1)	4.6	7.2	8.6	輸送機械	29.2	→ 20.5	→ 22.3	(▲ 8.7)	1.8	9.8	11.2
北米	18.9	→ 15.2	→ 13.3	(▲ 3.7)	▲ 1.9	1.6	0.8	電気機械	▲ 3.2	→ 10.6	→ 18.5	(13.8)	7.9	2.5	3.6
アジア	8.2	→ 22.6	→ 28.5	(14.4)	5.9	9.1	11.6	一般機械	14.6	→ 22.5	→ 20.7	(7.9)	▲ 1.8	13.8	12.3
ASEAN4	7.5	→ 16.0	→ 24.8	(8.5)	8.8	7.8	10.2	化学	17.2	→ 26.8	→ 27.9	(9.6)	1.1	6.9	9.6
NIEs3	▲ 2.8	→ 13.4	→ 18.1	(16.2)	4.7	▲ 0.1	▲ 0.1	鉄鋼	12.9	→ 23.3	→ 25.5	(10.4)	2.2	3.4	1.8
中国 (香港含む)	9.5	→ 30.3	→ 33.7	(20.8)	3.4	13.1	15.8								
欧州	18.6	→ 6.1	→ 8.6	(▲ 12.5)	2.5	10.4	15.9								

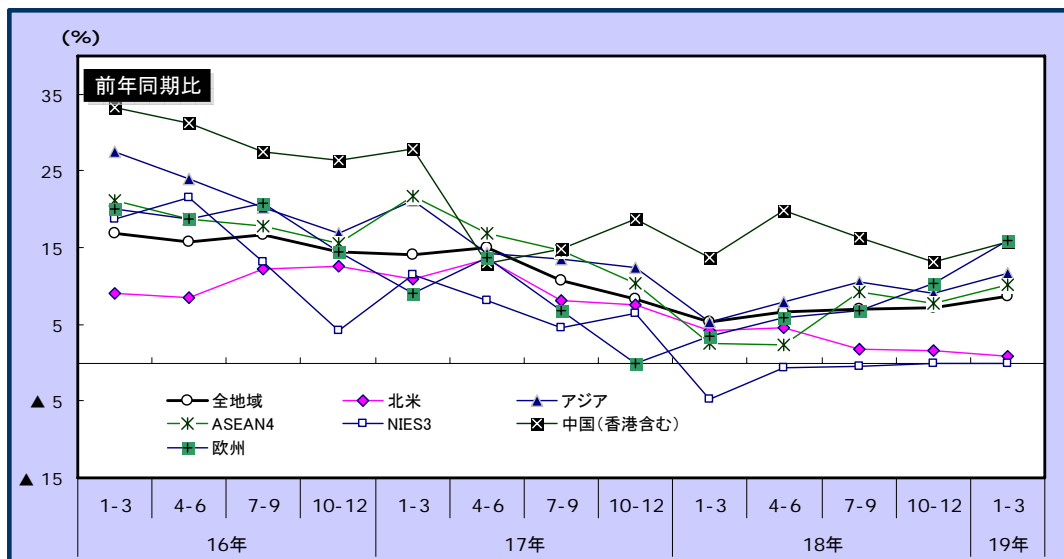
1 図 売上高の DI と実績（ドルベース）の推移



2 図 売上高DIの推移（地域別）



3 図 売上高実績（ドルベース）の推移（地域別）



2. 設備投資額(土地を除く有形固定資産取得額)

先行きDIは 14.3%ポイントと悪化を見込む。実績は前年同期比 4.1%増と伸び率低下。

- **現状判断D I** (19 年 4-6 月) は 15.5%ポイントと、前期現状判断D I (19 年 1-3 月) に比べ 5.6%ポイント改善。一般機械を除く主要業種及びすべての地域で改善し、すべての主要業種及び北米を除く地域で 2 桁台のプラス水準。

先行きD I (19 年 7-9 月) は 14.3%ポイントと、今期現状判断に比べやや悪化。化学及び電気機械を除く主要業種、北米を除く地域で悪化を見込むも、すべての主要業種及びNIEs3を除く地域で 2 桁台のプラス水準。

- **実績** (19 年 1-3 月) は前年同期比 4.1%増と伸び率を低下し、1 桁台の増加にとどまった。

業種別では、一般機械及び化学は引き続き大幅に増加したが、電気機械は 2 桁台の増加を続けたものの伸び率は大幅に低下、鉄鋼は大幅に伸びが鈍化した。輸送機械は ASEAN4 が大幅な減少に転じたことなどから 7 期ぶりに減少。

地域別では、欧州は 3 期連続 2 桁台の増加となり、北米は 2 桁台の増加に転じたが、アジア地域が大幅に伸び率を低下。中国は減少に転じ、ASEAN4 及びNIEs3 は大幅に伸びを鈍化。**欧州**(前年同期比 19.8%増)は、輸送機械が 2 期連続大幅に増加したことなどから 3 期連続で大幅に増加。化学は大幅な減少を続けた。**北米**(同 14.0%増)は 2 桁台の増加に転じた。前期大幅に減少した輸送機械が 2 桁台の増加に転じ、電気機械及び一般機械も増加に転じた。**アジア地域**(同 2.6%増)は、3 期連続の大幅増加の後、輸送機械の減少などから伸び率を大幅に低下。**ASEAN4**(同 2.3%増)は伸び率を大幅に低下し、4 年ぶりの低い伸び。輸送機械はタイの減少などから大幅な減少に転じ、電気機械は引き続き大幅な増加ながらも伸び率を低下。化学及び一般機械は著しく増加。**NIEs3**(同 7.0%増)は大幅に伸び率を低下。電気機械は 2 桁台の増加ながら大幅に伸びを鈍化し、輸送機械及び一般機械は大幅な減少を続けた。化学は 3 期連続で著しく増加。**中国**(同▲4.2%減)は 3 期ぶりに減少。電気機械は 2 桁台の減少に転じ、輸送機械は大幅な増加を続けたものの伸び率は低下。

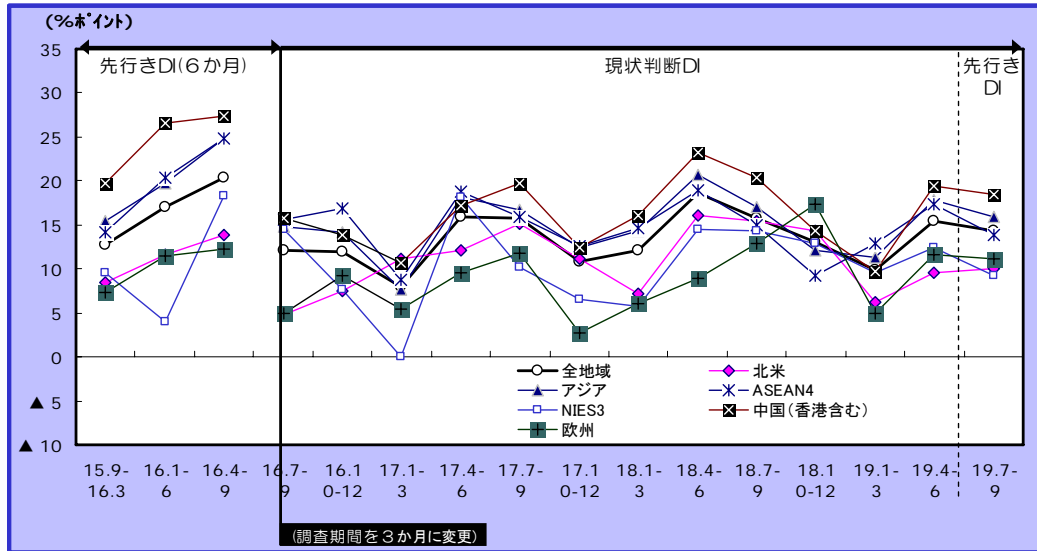
2 表 設備投資額のD I 及び実績 (地域・主要業種別)

	DI					実績	
	前期調査			前期比		(前年同期比)	
	①現状判断 (19.1-3)	②現状判断 (19.4-6)	③先行き (19.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)		
計 (地域・業種)	9.9	→ 15.5	→ 14.3	(5.6)	▲ 1.2	18.9	4.1
北米	6.2	→ 9.6	→ 10.1	(3.4)	0.5	▲ 12.7	14.0
アジア	11.3	→ 17.8	→ 15.9	(6.5)	▲ 1.9	49.7	2.6
ASEAN4	12.9	→ 17.3	→ 13.9	(4.4)	▲ 3.4	40.5	2.3
NIEs3	9.5	→ 12.4	→ 9.3	(2.9)	▲ 3.1	28.1	7.0
中国 (香港含む)	9.7	→ 19.4	→ 18.4	(9.7)	▲ 1.0	38.8	▲ 4.2
欧州	5.0	→ 11.7	→ 11.2	(6.7)	▲ 0.5	16.4	19.8

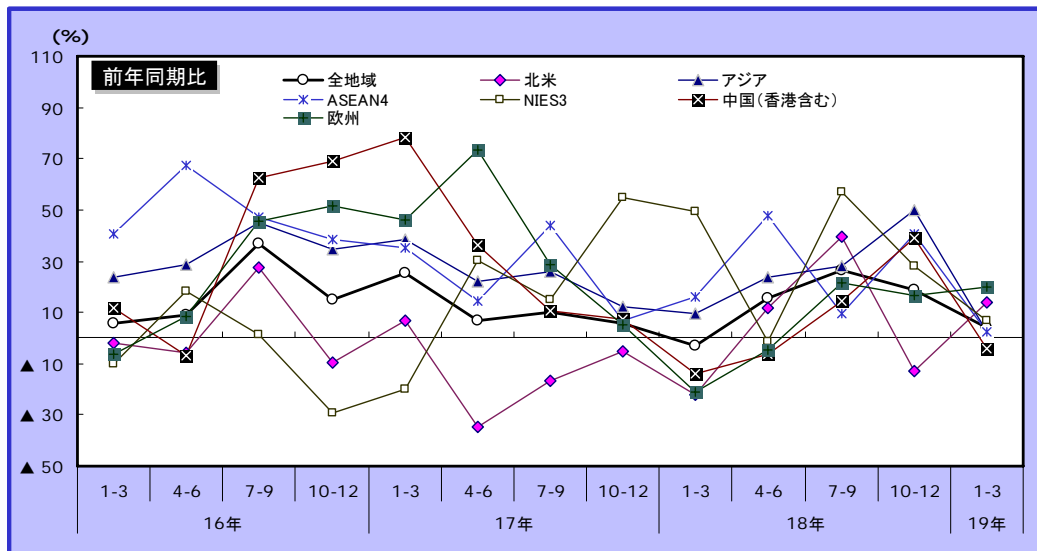
	DI					実績	
	前期調査			前期比		(前年同期比)	
	①現状判断 (19.1-3)	②現状判断 (19.4-6)	③先行き (19.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)		
輸送機械	12.8	→ 16.3	→ 12.9	(3.5)	▲ 3.4	9.4	▲ 2.0
電気機械	5.7	→ 10.0	→ 10.1	(4.3)	0.1	58.1	10.2
一般機械	16.7	→ 16.6	→ 11.4	(▲ 0.1)	▲ 5.2	32.7	33.5
化学	8.8	→ 13.7	→ 15.4	(4.9)	1.7	13.1	26.2
鉄鋼	20.0	→ 26.0	→ 19.6	(6.0)	▲ 6.4	27.2	5.5

(単位: DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

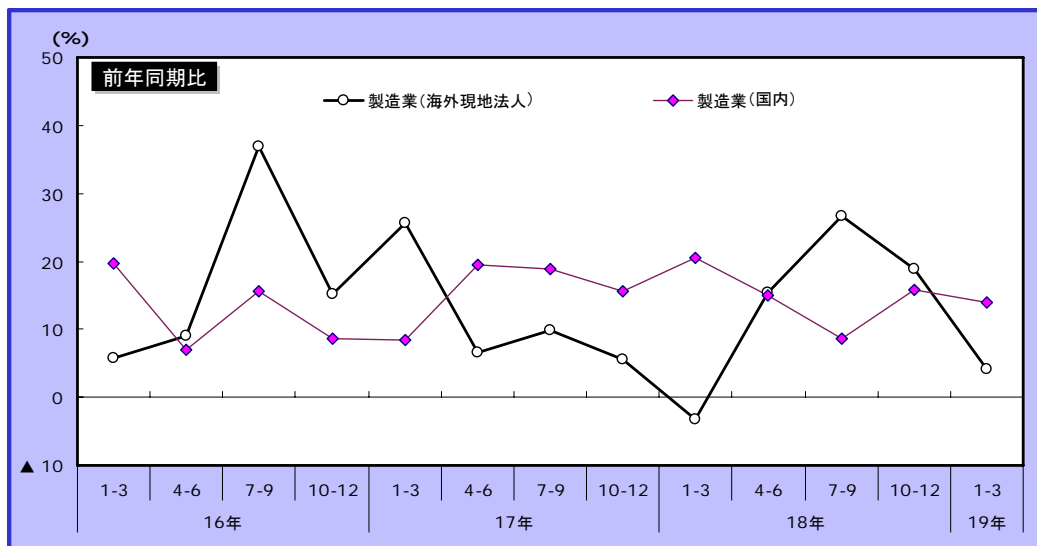
4 図 設備投資DIの推移（地域別）



5 図 設備投資額実績（ドルベース）の推移（地域別）



(参考) 日本及び海外現地法人の設備投資の推移



(注) 日本の設備投資額は、「法人企業統計」の有形固定資産新設額（建設仮勘定を含む）（円ベース）

3. 雇用(従業者数)

先行き DI は 9.8%ポイントと改善を見込む。実績は前年同期比 3.4%増と引き続き増加。

- 現状判断DI (19 年 4-6 月)は 9.6%ポイントと、前期現状判断DI (19 年 1-3 月)に比べ 3.7%ポイント改善。一般機械を除く主要業種、NIEs3 及び欧州を除く地域で改善。NIEs3 は輸送機械などの悪化により悪化し、マイナス水準。

先行きDI (19 年 7-9 月)は 9.8%ポイントと、今期現状判断に比べわずかに改善。化学を除く主要業種、中国及び欧州を除く地域で改善を見込む。中国は引き続き 2 桁台のプラス水準。欧州はマイナス水準に転じた。

- 実績 (19 年 1-3 月)は、前年同期比 3.4%増と引き続き増加。

業種別では、輸送機械は引き続き増加し、2 桁台の増加に伸びを高めた。電気機械は減少に転じた。

地域別では、引き続き中国を中心にアジア地域で増加。アジア地域(前年同期比 4.0%増)は、増加を続けているが、伸び率は緩やかに低下。中国(同 5.0%増)は、3 期連続で 1 桁台の増加にとどまった。輸送機械は引き続き大幅に増加したが、電気機械の伸びが鈍化。ASEAN4(同 1.8%増)は引き続き緩やかに増加。電気機械は 2 期連続の減少。NIEs3(同▲3.1%減)は 2 期連続の減少。輸送機械は引き続き減少し、電気機械が減少に転じた。北米(同 1.0%増)は、鉄鋼及び輸送機械の増加などによりわずかに増加。欧州(同 0.0%増)は引き続き低い伸び。輸送機械は増加を続けたが、その他の主要業種は減少。

3 表 従業者数の DI 及び実績 (地域・主要業種別)

(単位: DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI					実績 (前年同期比)	
	前期調査			前期比		前期 (18.10-12)	今期 (19.1-3)
	①現状判断 (19.1-3)	②現状判断 (19.4-6)	③先行き (19.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)		
計 (地域・業種)	5.9 →	9.6 →	9.8	(3.7)	0.2	3.1	3.4
北米	4.4 →	8.2 →	10.2	(3.8)	2.0	▲3.3	1.0
アジア	7.4 →	11.3 →	12.2	(3.9)	0.9	4.4	4.0
ASEAN4	3.2 →	8.3 →	11.0	(5.1)	2.7	0.3	1.8
NIEs3	0.4 →	▲1.3 →	0.9	(▲1.7)	2.2	▲0.3	▲3.1
中国 (香港含む)	13.4 →	16.7 →	15.4	(3.3)	▲1.3	7.2	5.0
欧州	1.9 →	0.8 →	▲3.2	(▲1.1)	▲4.0	0.1	0.0

	DI					実績 (前年同期比)	
	前期調査			前期比		前期 (18.10-12)	今期 (19.1-3)
	①現状判断 (19.1-3)	②現状判断 (19.4-6)	③先行き (19.7-9)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)		
輸送機械	8.4 →	14.4 →	15.1	(6.0)	0.7	7.9	13.3
電気機械	4.0 →	7.9 →	8.0	(3.9)	0.1	1.6	▲1.5
一般機械	12.2 →	4.0 →	8.2	(▲8.2)	4.2	5.8	2.9
化学	6.0 →	10.4 →	4.9	(4.4)	▲5.5	1.2	0.7
鉄鋼	10.6 →	13.8 →	16.7	(3.2)	2.9	14.0	15.6

<参考> 海外経済

世界の景気は回復している。アメリカでは、住宅建設の減少等により、景気は減速している。中国では、景気は拡大が続いている。固定資産投資は伸びが高まっている。シンガポール、マレーシアでは、景気は拡大している。韓国、台湾では、景気は緩やかに拡大している。タイでは、内需の停滞により景気は弱い動きとなっている。ユーロ圏及び英国では、景気は回復している。(月例経済報告(平成19年6月)より)